

連続講座（全10回）

精神疾患の理解と対応

～ 知っていることと、できることは違います ～

講師 本間貴宣 臨床心理士

（一般社団法人しん 代表理事）

新潟県佐渡島生まれ。幼いころから心理学に関心を持ち、大学・大学院で心理学を学ぶ。大学院卒業後、精神科クリニックに臨床心理士として勤務。デイケア責任者などを務める。2013年、一般社団法人しんを設立、代表理事に就任。



期間：2019年4月～2020年2月（8月は除く）

各月第3火曜日 14:00～16:00

全10回の開催日・内容は裏面をご覧ください。

会場：名古屋市総合社会福祉会館

（北区総合庁舎）

7階 研修室または大会議室

6,7,11月は研修室（定員100名）ですので
家族会毎に参加者の調整をお願いいたします。



主催：NPO 法人名古屋市精神障害者家族会連合会

TEL: 052-846-5576

<http://meikaren.sakura.ne.jp>

名古屋市

名古屋市精神障害者家族ピアサポート総合事業

連続講座 全 10 回の内容

第1回	精神疾患の理解 ～異なる二つの視点～
2019年 4月16日	医学モデルとは異なる心理・社会的モデルでの理解の仕方をご紹介します。 異なる二つの視点を対比しつつ、それぞれの違いについてご理解いただければと思います。
第2回	症状に囚われず、人生物語として理解してみましよう
5月21日	診断名や症状だけで本人を理解しようとするのではなく、本人の「生きづらさ」を物語として理解する方法をご紹介します。人が生まれてから、成長し発病するまでの過程を物語としてご説明させていただきます。
第3回	症状の「良い側面」にも目を向けてみましょう
6月18日 研修室	症状は、本人を苦しめる「悪い側面」ばかりではありません。本人を守るために必要だから出ているという「良い側面」もあります。これまでとは少し違った視点で、皆さんと、理解の仕方を工夫してみたいと思います。
第4回	家族にしかできないこと
7月16日 研修室	主治医には、主治医の役割があり、支援者にもそれぞれの役割があります。では、家族の役割とは何でしょうか？様々な人と協力しつつ、家族にしかできない役割について皆さんと考えてみたいと思います。
第5回	家族が変われば本人も変わる
9月17日 大会議室	家族は、気がつかないうちに、良くも悪くも、お互いに強く影響を与え合いながら生活している共同体です。家族それぞれをバラバラに理解するのではなく、家族システムとして理解し工夫する方法を皆さんと学んでいきたいと思います。
第6回	家族が学ぶ認知行動療法 基礎編
10月15日 大会議室	近年注目を浴びている認知行動療法を基本的なことからご紹介していきます。その考え方や、方法について、できるだけご家庭内でも実践できるように説明させていただきます。
第7回	家族が学ぶ認知行動療法 実践編
11月19日 研修室	基礎編を簡単に復習した上で、より実践的な方法や内容についてご紹介していきます。様々な方法をご紹介します。ご家庭内で実践できそうなものを是非みつけてください。
第8回	家族が学ぶ認知行動療法 応用編
12月17日 大会議室	第三の認知行動療法と呼ばれる新しい方法には、マインドフルネスという古くて新しい概念が登場しています。ご家族のメンタルヘルスにも有効なマインドフルネスについて応用編としてご紹介させていただきます。
第9回	幻覚・妄想への理解と対応
1月21日 大会議室	これまで学んできたことの実践として、幻覚・妄想に対してどのように理解をし、どのように対応していくかを参加者の皆さんそれぞれでお考えいただき共有してみたいと思います。
第10回	事例検討会
2月18日 大会議室	総復習として、1つの事例についてグループワークをしていきたいと思います。今回学んだことを整理するとともに、他のご家族との違いや、新しい発見などを見つけそれぞれのご家庭内での関わり方を工夫していただければ幸いです。

※6月、7月、11月は研修室（定員100名）です。各家族会で参加者の調整をお願いいたします。